

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	広島駅南口Cブロック第一種市街地	階数	地上46F、地下1階
建設地	広島市南区松原町3番、4番、猿猴精	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	3,500 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	物販店、工場、集合住宅、等	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年12月 予定	評価の実施日	2013年11月7日
敷地面積	9,681 m ²	作成者	有馬真人
建築面積	8,556 m ²	確認日	2013年11月7日
延床面積	99,931 m ²	確認者	斎藤正俊



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.6 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 大項目の評価(レーダーチャート)

2-3 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.1

LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.7

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.9

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.7

3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア = 3.6

「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア = 3.8	スコア = 3.3	スコア = 3.0
設計の計画上特段に配慮した事項 住宅部分は省エネルギー等級4を満足し、建物の熱負荷抑制に配慮している。/ 自然エネルギーの利用は特にない。/ 住宅部分は潜熱回収型ガス給湯器を採用し高効率化に配慮している。/ 建物で消費されるエネルギー量を年間に渡って把握できる。/ 節水型水栓や節水型便器を使用し、節水に配慮している。主要構造部に高強度の構造材料を使用し、使用材料の削減に配慮している。躯体材料には高炉セメントB種を使用し、非構造材料としてエコマーク商品やグリーン購入法適合品を使用し、リサイクル材の使用に配慮している。/ ライフサイクルCO ₂	設計の計画上特段に配慮した事項 外構には中高木を積極的に植樹し、温熱環境の向上に配慮している。また、緑地周辺には散水栓を適切に設け、緑地の適切な維持管理にも配慮している。/ 条例による駐車場および駐輪場の附置義務台数を満たす計画とし、敷地内への駐車場出入口を対面通行可能な計画とするなど、適切な駐車スペースの確保や、地域の交通渋滞への配慮をしている。	設計の計画上特段に配慮した事項 主要な空調・給排水管には耐用年数の長い配管を選定し、耐用性に配慮している。/ 配管配線は躯体への打ち込みはせず、主に縦管はPS、EPS内配管とし、横引管は天井内配管とする事で更新時に構造材を傷めずに更新可能である。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される